

<p style="text-align: center;">実用技術英語Ⅱ (Practical EnglishⅡ for Electronics and Information Engineering)</p>	<p style="text-align: center;">2年・前期・2単位・選択 電子情報工学専攻・担当 長田 芳裕</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕</p> <p style="text-align: center;">D-1 (80%) , C-2 (20%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕</p> <p style="text-align: center;">d-2a, f</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>本講義では、実用技術英語Ⅰで学んだ電子情報系の技術英語の語彙や表現法に基づき、受講者各自の特別研究の内容を英語論文化する過程として Introduction と Abstract の書き方を学ぶ。要望があれば Full Paper の添削指導も行う。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>各自の特別研究内容を表現するため、初めに背景・先行研究とアプローチなどをメモで整理し、Rhetoric 的観点で論理を再構築する。次に Introduction/Abstract を作成し、論文として適切な表現を学習します。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>まず自分の特別研究の内容を客観的に分析し、説明する論理の構成・順番を整えること。日本語単語と英単語は 1 対 1 対応しないので、やや詳しい辞書で英単語の持つ概念をよく理解して用いる習慣をつけること。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特別研究に関する論理・文の構成を作成する。 2) それに基づき Introduction と Abstract を作成する。 3) 技術英語力獲得のための学習方法を習得する。 		
<p>〔自己学習〕</p> <p>到達目標を達成するため、授業以外にも予習・復習を怠らないこと。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>各特別研究の Introduction と Abstract の最終版の完成度で評価する。</p>		
<p>〔教科書〕〔補助教材・参考書〕</p> <p>「ネイティブに通じる英文技術文書の書き方」 上田秀樹 工業調査会 2006 年</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>実用技術英語Ⅰ</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	本講義の進め方を解説する。グループ分けと発表順を割当。各自の特別研究の背景・先行研究・アプローチ・新規性を整理分析し、論旨を再構築し、読者のレベルを想定して作成する。	
第2週	論文の書き方	Abstract/Introduction/Theory/Experimental/Results/Discussion/Conclusion の解説。論旨のメモ整理方法。	
第3週	Rhetoric について	Rhetoric（効果的表現法）について解説する。添削。	
第4週	論理構成の添削1	プロジェクト添削7件と解説	
第5週	論理構成の添削2	プロジェクト添削7件と解説	
第6週	論理構成の添削3	プロジェクト添削7件と解説	
第7週	Introduction の作成1	背景・先行研究（引用）・研究目的・アプローチ	
第8週	Introduction の作成2	プロジェクト添削3-4件と構成・表現法解説	
第9週	Introduction の作成3	プロジェクト添削3-4件と構成・表現法解説	
第10週	Introduction の作成4	プロジェクト添削3-4件と構成・表現法解説	
第11週	Introduction の作成5	プロジェクト添削3-4件と構成・表現法解説	
第12週	Introduction の作成6	プロジェクト添削3-4件と構成・表現法解説	
第13週	Abstract の作成1	プロジェクト添削7件と構成・表現法解説	
第14週	Abstract の作成2	プロジェクト添削7件と構成・表現法解説	
第15週	Abstract の作成3	プロジェクト添削7件とレポート集計	

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)